

こだま新聞

第44号

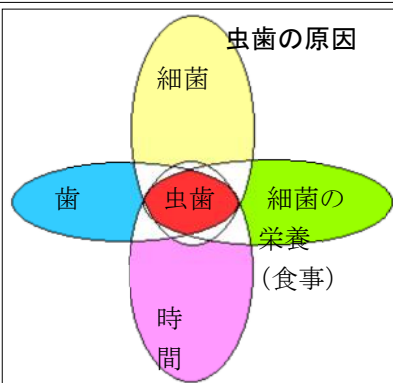
平成11年6月

歯ブラシと虫歯

つい最近の新聞に又首を傾げたくなる記事があった。秋田県の某大手S新聞の記事だ。おそらく中央の大手通信社から買ったものだろう。

「カピカで虫歯知らず、秘訣は枝ブラシ」という題で白川という紀行作家が書いていた。

白川さん（一部の医療従事者も）を含めて「歯ブラシをすれば虫歯は治る」という固定観念ができてしまっているように思える。一步譲って歯ブラシの効果があるとしても虫歯の原因は歯ブラシだけで



しないのだという認識が必要と思える。

歯科保健活動では虫歯の原因として3つ、最近では4つ提示してその輪の中心に虫歯を置いた説明をしている。説明はしているものの結果的にやっているのはやっぱり歯ブラシ指導だけというのが現実だ。これでは指導を受ける方が歯ブラシさえちゃんとやっていれば虫歯はできないと思っ

ていても仕方ない所がある。歯そのものを虫歯になりにくくするのは研究者に研究していただくこととして食事と接触時間という虫歯の因子は個人の力で解決できる治療法で歯ブラシ以上の効果があることを指導



紹介された枝ブラシ

決して

する人は少ない。先の記事にある枝ブラシはその点で評価を誤ってしまった。枝ブラシが歯ブラシよりも効果があるのではなくて、枝ブラシを昔から使っている人達の食生活が虫歯を作りにくくしている最大の原因なのだ。日本でも戦争当時の貧しい食生活をした人達と現代の人達と比べ、どちらが一生懸命歯ブラシをしているだろうか。結果、虫歯は現代人の発生率がずっと高いのだ。

歯ブラシ（枝ブラシ）だけで事が済むということではないことを知っていてももらいたいものだ。

鳥類原色大図説

4月の郡市歯会総会の時、大久保の高橋文雄先生から貴重な本をお譲りいただくことになった。昭和8年に発行された鳥類原色図説全3巻とジャズの雑誌であった。今回は鳥類図説の方を紹介しよう。図説は右に手書きの原色挿し絵を載せ左にその解説を書いていて鳥の絵を見ながら正式名称や分布など



が分かるようになっていて。著者は黒田長禮さん。

写真にあるように、大戦を経て尚鮮やかな色彩を保っている本である。この時代は台湾、朝鮮半島、北方4島も日本の領土であったため、そちらの鳥類についても記載されている。ちなみに現在話題の「どき」を開いてみると写真にある挿し絵とともにこのよ

うな解説が書かれている。

今月の終了証

伊藤 政紀さん

勝田 朋成さん

三戸 沙織さん

千田 悠輝さん

千田 瑞穂さん

伊藤 史織さん

今月の行事

6月

1日 児玉医院歯科開業7周年

22日 休診

27日 メビウス女性会

救命士を招いて」

四国（徳島）・九州・朝鮮・琉球及び台湾とす。以下

わらび座公演

6月19日にわらび座公演

がある。八郎潟町で芸術公演が少ないことは良く聞かれる。しかし、なぜ八郎潟町でわらび座公演なのか、そしてなぜこういう形で開催されなければならぬのか十分な説明も理解も得られないままに券が売られている。今後はこういう形で公演が開催されないことを願う。